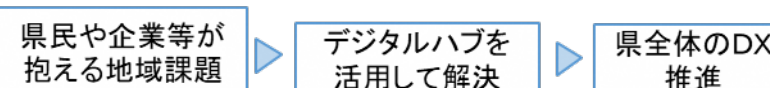
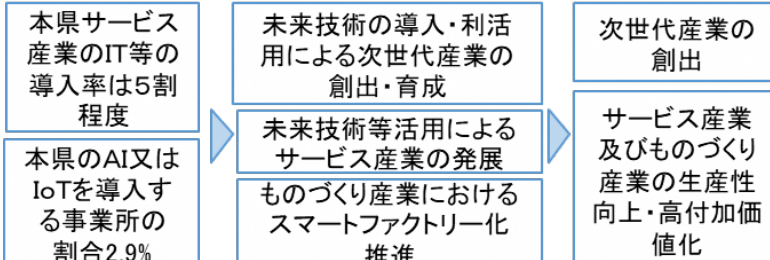




# 事業概要【 Society5.0の実現に向けた栃木県DX推進事業】



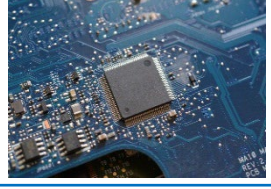
旧制度（推進）

申請者	栃木県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	827,560千円（179,554千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	<p>①デジタルで解決する仕組みづくりプロジェクト 企業、大学、県、市町等の協働により、デジタル技術を積極的に活用して地域課題を解決し、Society5.0を見据えた県全体のDXの推進を図る。</p> <p>②未来技術等を活用した地域経済活性化プロジェクト 未来技術等の導入・利活用による次世代産業の創出や、サービス産業及びものづくり産業の生産性向上・高付加価値化の実現を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○地域課題を企業、大学、県、市町等が共有し、協働して問題の解決に取り組む新たなプラットフォーム「デジタルハブ」の創設・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「デジタルハブ」の構築・運営（委託料）19,162千円</li> <li>・周知広報費 3,658千円(委託料)</li> <li>・スマホ操作サポート人材研修費（委託料）2,694千円</li> </ul> <p>○未来技術の導入・利活用による次世代産業の創出・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とちぎビジネスAIセンター」運営（委託料）52,190千円</li> </ul> <p>○未来技術等活用によるサービス産業の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化等社会経済情勢の変化に対応するDXの推進を目的とした、ビジョン・戦略の策定や組織改革等のコンサルティング支援（委託料）27,304千円</li> </ul> <p>○ものづくり産業におけるスマートファクトリー化推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートファクトリー伴走支援（委託料）8,270千円</li> </ul>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①「デジタルハブ」により解決した地域課題プロジェクト数（+14プロジェクト）</p> <p>②AI又はIoTを導入する事業所の割合（+20.1%）</p> <p>③商業・サービス業事業者の経営革新計画承認件数（+140件）</p> <p>④スマートファクトリー化に取り組む企業数（+40社）</p>		
	<p>①デジタルで解決する仕組みづくりプロジェクト</p>  <p>②未来技術等を活用した地域経済活性化プロジェクト</p>   	<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html">https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html</a></p>	






# 事業概要【レジリエンスマネジメントによる県内産業強化事業】

旧制度（推進）




申請者	栃木県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	704,011千円（135,386千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業から求められるデジタル技術に長けた女性・障害者・外国人など多種多様な人材を育成する。</li> <li>・サービス産業におけるデジタル化を推進し、業務管理の効率化や生産性を向上させるとともに、ものづくり産業におけるDXの推進による業務効率化や技術の高度化を図り、本県企業の更なる成長・発展を目指す。</li> <li>・企業の自己変革力を向上させ、持続的に本県産業の成長を支え、雇用を創出していく。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>○デジタル人材の確保育成に向けた体制づくり (1)外国人材におけるデジタル技術の活用促進 デジタルを活用した事前勉強会の開催、高度外国人材等のグローバル人材と県内中小企業等とのマッチングを支援（委託費等） 22,704千円</p> <p>(2)リ・スキリングによるDX推進 リ・スキリングの意義や実践方法を学ぶ導入講座・相談支援や、DXに資する知識やスキルを身につける講習を実施（委託費等） 7,114千円</p> <p>○デジタル時代に対応したサービス産業の創出のアフターフォロー 創業支援を行うとともに、創業した事業主に対し、創業後の課題に対応したアフターフォローを実施（委託費）2,232千円</p> <p>○ものづくり産業におけるDX等の推進による企業の自己変革力強化 特定重要物資等に関連する部品の開発力向上や技術の高度化等に資する研究開発に対する支援等（補助金等）49,654千円</p>	<p>1 ○デジタル人材の育成 ○多様な人材のデジタル技術習得支援 </p> <p>2 ○デジタル時代に対応したサービス産業の創出 ○デジタル技術を活用した業務効率化を推進 </p> <p>3 ○ものづくり産業におけるDX推進 ○新事業展開の導入支援 </p>	<p>※経費内訳はR7年度事業費</p>
KPI	<p>①サービス産業のうち情報通信業の売上高（+152億円）</p> <p>②創業支援等事業計画による創業者数（+125人）</p> <p>③自動車・航空宇宙・医療福祉機器の製造品出荷額（+8,504億円）</p> <p>④AI・IoT等を導入する事業所の割合（+21.1%）</p>	<p>関連URL</p>	<p>（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証） <a href="https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html">https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html</a></p>
<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>			

# 事業概要【子育て世代のwell-being（心ゆたかな暮らし）を実現する移住・定住促進事業】



申請者	栃木県				初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	688,172千円 (121,550千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン相談やリアル体験の組合せ等、若者世代のニーズの高い事業展開を行い、若者等のUターン・地元就職・移住定住の促進を図る。</li> <li>・子育て世代のwell-beingを実現したいというニーズに応え、あらゆる人が活躍できる就労環境の整備を進め、家族帯同での移住定住を図る。</li> <li>・本県で技能・技術を身につけ、優れた人材として活躍することを目指す移住希望者に向けた情報発信・相談対応・人材育成・就職支援を集約</li> <li>・一元化したとちぎ職業人材カレッジの開設・運営などに取り組むことで、本県への移住定住を図る。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若者等への移住定住支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・U I J ターン就職の促進（委託料）5,652千円                                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)学生と県内企業のマッチングの場となるフェアの開催</li> <li>(2)U I ターン就職促進協定締結校と企業の情報交換会実施</li> <li>(3)とちぎ女性活躍応援団登録企業のPR</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>○子育て世代のwell-being（心ゆたかな暮らし）の実現                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の働き方改革を応援（委託料）20,066千円                                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)企業の担当者が抱える課題等を解決する講座の実施</li> <li>(2)アドバイザー派遣</li> <li>(3)とちぎ生涯現役シニア応援センター運営</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>○移住希望者のニーズに応える情報発信と就労支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業人材の育成・確保の促進（委託料）4,604千円</li> </ul> </li> </ul>		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>若者の県外流出と就職活動のオンライン化</p> <p>子育て世代の移住意向の高まりと県内企業の働き方改革</p> <p>移住における情報収集と仕事・就業の壁</p>  </div> <div style="width: 30%; border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>若者等への移住定住支援</p> <p>新しい働き方へ対応する企業の課題等の解決支援</p> <p>移住希望者のニーズを捉えた効果的なPR</p>  </div> <div style="width: 30%; border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>UIJターン等若者世代・子育て世代の移住定住を促進し、本県の人口の社会現象を抑制</p>  </div> </div>				
地域の多様な 主体の参画	<p>県内の大学や企業と連携して、相談対応から就職まで一貫した情報提供を行うことで、修学生の移住・定住を促進する。</p> <p>とちぎ職業人材カレッジによる移住者への就職支援を行い、更に県や経済団体の支援により地元企業が働き方改革に取り組むことで、子育て世代が移住しやすい環境づくりを促進する。</p>		<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<ol style="list-style-type: none"> <li>①子育て世代における転入超過数（+550人）</li> <li>②栃木県及び県内市町の移住相談窓口等において受け付けた相談件数（+5,022件）</li> <li>③新規就農者に占める女性の割合（+10.6%）</li> <li>④とちぎU I ターン就職促進協定締結校における本県への年間就職者数（+215人）</li> </ol>		

# 事業概要【デジタル社会における女性・若者に魅力ある新たな雇用・産業の創出事業】

旧制度（推進）

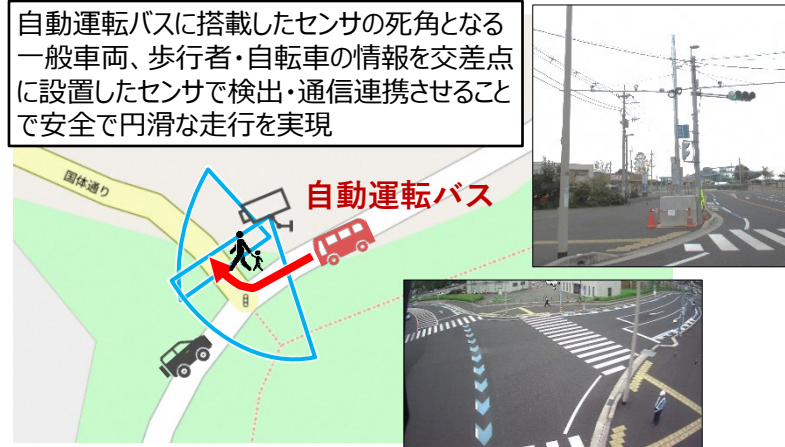
申請者	栃木県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	289,628千円 (113,274千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>・デジタル技術等を活用することにより、様々な出産・子育て支援等とも連携しながら、女性の県外転出に歯止めをかけると共に、本県内で働き続けることができるよう、女性が希望する雇用・仕事・産業を地方発で創出していく。</p> <p>・魅力的な就業環境を整備して、本県からの転出抑制を図り、将来的な県内労働人口の増加につなげていく。</p>		
<p><b>事業概要・主な経費</b></p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>○ダイバーシティ経営の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業による女性の個性や能力を最大限発揮できる機会の提供に向けたセミナー等の実施（委託費）3,284千円</li> </ul> <p>○女性等から選ばれるものづくり産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の人材育成や競争力向上に向けた支援（委託費等）13,522千円</li> </ul> <p>○女性デジタル人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルスキルの習得に向けた、リアルとオンラインでの支援（委託費）16,298千円</li> </ul> <p>○スタートアップ企業等の交流機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内外におけるスタートアップ企業等の交流イベントの開催による、スタートアップ企業のイノベーションの促進及びマッチング機会の提供（委託費等）4,638千円</li> </ul> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid #0070C0; padding: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; text-align: center;">1 女性等に魅力ある 新たな雇用・産業の創出</p> <p>○女性に魅力ある新たな雇用・産業の創出等に向けた事業戦略の策定と戦略に基づく施策の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 外部環境調査を実施し、多様なニーズを持つ女性の雇用・働き方等を把握、分析</li> <li>◆ 外部環境調査等を踏まえて策定した戦略に基づき、以下の施策を行う。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信産業等の立地の促進</li> <li>・ものづくり産業における女性活躍の推進</li> <li>・ワークシェアリングによる就業機会の提供</li> <li>・企業の労働環境改善の取組を支援するアドバイザーの派遣 等</li> </ul> </li> </ul>  </div> <div style="width: 48%;"> <p style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; text-align: center;">2 若者・女性の人材育成</p> <p>○女性デジタル人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性がデジタルスキルを身につけ、柔軟な働き方ができるよう支援する</li> </ul> <p>○人材育成機関の強化 </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成機関が実施する特別授業等への助成などを実施する</li> </ul> </div> </div> <div style="width: 48%;"> <p style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; text-align: center;">3 若者・女性の雇用創出に向けたスタートアップ企業支援</p> <p>○スタートアップ企業交流イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外スタートアップ企業によるプレゼンテーション（ピッチ）</li> <li>・スタートアップ企業及び支援者等によるパネルディスカッション</li> <li>・スタートアップ企業PRブースや展示パネル等の設置 </li> </ul> </div> </div> </div>		
KPI	<p>①県内人材育成機関（事業対象機関）における県内就職率（+3.3%）</p> <p>②デジタルスキルを学習し副業・兼業、フリーランス、就業等により新たな業務を行った女性の数（+270人）</p> <p>③スタートアップ支援事業による支援起業家数（+65人）</p>	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証）</p> <p><a href="https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html">https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html</a></p>

# 事業概要【デジタル技術を活用した農業の流通改革・新価値創出力強化事業】旧制度（推進）

申請者	栃木県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	173,392千円 (83,784千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産管理や物流合理化に向けたデジタル技術の活用方策の検討等により、流通の合理化等を図る</li> <li>ニーズの変化を捉えた付加価値の高い米づくりの推進等により、多様なニーズに合った農産物の供給強化を図る</li> </ul>		
<b>事業概要・ 主な経費</b> <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>○実需者ニーズに即した生産管理や物流合理化に向けたデジタル技術の活用方策の検討、支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データ活用による生産・流通・販売の体制づくりへの支援（補助金） 2,766千円</li> </ul> <p>○競争力の高い米産地づくりの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米の超低コスト生産モデル育成に向けた省力・効率化への取組やスマート農機の導入への支援（補助金）13,138千円</li> <li>将来の家庭用米ニーズを捉えた高品質米の生産・供給の推進</li> <li>環境配慮と品質維持を両立した米の産地支援 4,514千円</li> <li>○「とちぎの星」高品質化に取り組む産地の拡大と消費形態の変化に対応した販売力向上に向けた取組への支援</li> <li>「とちぎの星」の認知度向上等への取組支援（補助金）12,800千円</li> <li>○持続的な農業生産の確立に資する他機関と連携した研究開発の推進</li> <li>試験研究に必要な備品の購入等（需用費、備品購入費等） 12,688千円</li> </ul> <p>○地域の生産体系に応じたスマート農機の改良・実証等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スマート農機改良及び導入支援（補助金）14,300千円</li> </ul> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid green; padding: 10px;"> <h3 style="text-align: center; color: green;">栃木県農業の成長産業化</h3> <p style="text-align: center; color: green;">○情勢変化に対応した農業の体質強化 ○ニーズに合った農産物の生産増加による競争力の強化</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>農業生産管理・ 流通合理化</b></p>  <p style="font-size: small;">仲卸 産地 食品企業 生産から流通までデータ共有 市場 量販店</p> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>新価値を有する 農産物生産推進・支援</b></p>  </div> </div> </div> </div>		
KPI	<ol style="list-style-type: none"> <li>①先端技術導入経営体数（+576経営体）</li> <li>②新たに開発した品種・技術数（+32個）</li> <li>③販売農家1戸当たりの農業産出額（+110.5万円）</li> <li>④生産から流通まで一貫したデータ活用に取り組む団体数（+6団体）</li> </ol>		関連URL <a href="https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html">https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html</a>
<small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>			

# 事業概要【新無人自動運転移動サービス導入促進事業】

旧制度（推進）

申請者	栃木県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	123,340千円 (13,900千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>・公共交通機関に無人自動運転技術を導入することで、運転手不足の中でも効率的な路線の確保・充実を促進するとともに、中山間地域における地域住民の移動の活性化や観光地の周遊性を高めることによる魅力度の向上を図る</p> <p>・人口減少や高齢化が進む社会においても、誰もが利用しやすい持続可能な公共交通ネットワークの形成を図り、まちのにぎわいの創出と地域の活性化の実現を目指す</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○交通事業者が実施する実証実験の実施箇所や事業計画について、協議会において必要な検討と助言を実施</p> <p>・協議会運営費 900千円</p> <p>○交通事業者が実施する実証実験に対する、無人自動運転バスの安全性の向上を図るためのインフラ側からの走行支援</p> <p>・路車協調システム設置（委託料）10,000千円</p> <p>○無人自動運転移動サービスの導入に向けた検討や取組を始めようとする交通事業者の初期の取組を支援するためのアドバイザーの派遣</p> <p>・アドバイザー派遣（委託料）3,000千円</p>		<p>自動運転バスに搭載したセンサの死角となる一般車両、歩行者・自転車の情報を交差点に設置したセンサで検出・通信連携させることで安全で円滑な走行を実現</p>  <p>インフラ側からの走行支援例</p>
KPI	<p>①鉄道・バス等の利用者数（+45,000人）</p> <p>②自動運転バス運行開始路線数（+2本）</p> <p>③既存バス路線での有償による実証実験の総走行人・km（+9,000人・km）</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html">https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html</a></p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【とちぎスポーツの活用による地域活性化推進事業】

旧制度（推進）


申請者	栃木県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	161,967千円（57,381千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	まちづくり分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツコミッションを核とする大規模大会、スポーツイベント等の誘致などによるスポーツを活用した地域活性化</li> <li>・スポーツと他産業との連携機会創出、大会誘致等のノウハウ蓄積、人材育成による自走化に向けた環境整備</li> <li>・テーマ別ツーリズムの推進によるサイクルツーリズムなどスポーツと他産業を組合わせた商品造成等の機会創出</li> <li>・eスポーツ活用の機運醸成、裾野拡大によるデジタル社会の形成・定着促進</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>○栃木県スポーツコミッションの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局を担う団体に対する経費の助成（補助金）5,744千円</li> <li>・Webサイト保守管理、商談会出展等PR（委託料等）4,759千円</li> </ul> <p>○大規模大会やスポーツイベント等の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会等の開催経費に対する助成（補助金）20,000千円</li> </ul> <p>○テーマ別スポーツツーリズム推進に向けた支援事業等実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車を活用した取組の支援、情報発信等（委託料等）5,560千円</li> <li>・サイクルルート活用プラン企画、サイクリング体験事業（委託料）5,172千円</li> </ul> <p>○新たなテーマ別スポーツツーリズム推進に向けたモデル事業等創出の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武道ツーリズムセミナー、ワークショップの実施等（報償費等）1,646千円</li> <li>・武道ツーリズム受入体制整備の経費の助成（補助金）1,500千円</li> </ul> <p>○eスポーツを活用した地域活性化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント、体験会開催（負担金）13,000千円</li> </ul>		 <p>栃木県 TOCHIGI PREFECTURE SPORTS COMMISSION スポーツコミッション</p>     
KPI	<p>①新たなテーマ別スポーツツーリズムの推進に向けた体験会等モデル事業の参加人数（+300人）</p> <p>②大規模大会や国際大会が本県で開催される回数（+3回）</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html">https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html</a></p> <p><a href="https://tochigi-pref-sports-commission.com/">https://tochigi-pref-sports-commission.com/</a></p> <p><a href="https://gurutochi-cycling.com/">https://gurutochi-cycling.com/</a></p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【平日にもう1泊事業】

旧制度（推進）

申請者	栃木県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	321,105千円 (124,857千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	<p>・「旅行需要の平準化」に焦点を当て、夏休みや紅葉シーズン等の繁忙期や土日祝日を避けた旅行を促進し、新たな旅行需要の喚起とオン・オフシーズン間の格差是正を通じて、県内観光関連産業の生産性の向上と雇用の安定を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○旅行需要の平準化に向けた観光キャンペーンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内同一宿泊施設に平日を含み2連泊以上する旅行者に抽選で商品プレゼント（委託料） 31,050千円※商品は交付金対象外</li> <li>○デジタルを活用した誘客プロモーション等の強化</li> <li>・観光地におけるWEBマップ活用促進（委託料） 9,062千円</li> <li>・動画広告作成・配信等（委託料） 30,364千円</li> <li>・県公式観光HP「とちぎ旅ネット」特集ページ作成等（委託料） 19,314千円</li> <li>・放送番組・配信サービス発信強化等（委託料） 22,730千円</li> <li>○観光需要の掘り起こし</li> <li>・とちぎDMO「とちぎ観光地づくり委員会」の開催事業 3,857千円</li> <li>・ワーケーションの定着に向けたプログラム造成支援等（委託料） 3,200千円</li> <li>・スポーツ大会等に伴う来県者のエクスカーション助成等（補助金等） 5,280千円</li> </ul>		<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行需要の偏在</li> <li>・宿泊日数、滞在時間の伸び悩み</li> <li>・観光事業者のデジタルリテラシー対応の遅れ</li> </ul> <p>↓</p> <p><b>事業内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行需要の平準化</li> <li>・デジタルを活用したプロモーション</li> <li>・観光需要の掘り起こし</li> </ul> <p>↓</p> <p><b>効果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客宿泊数、観光客入込数の増加</li> <li>・地域における観光消費額拡大</li> <li>・観光産業の生産性向上及び雇用の安定化</li> </ul> 
KPI	<p>①地域における観光消費額（+492億円）</p> <p>②観光客宿泊数（+141万人）</p> <p>③観光客入込数（+2,355万人）</p> <p>④観光客宿泊数のうち1泊の割合（▲0.3%）</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証)</p> <p><a href="https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html">https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html</a></p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【新ビジネス創出による農業・農村収益力向上事業】

旧制度（推進）

申請者	栃木県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	543,670千円 (194,824千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物の収穫・加工、農家や古民家での宿泊体験、地域の文化・伝統等と組み合わせたストーリー性のあるツーリズムを創出するなど本県特有の地域資源等を活用し、誘客促進につなげることで、訪日観光客の来訪者数増加及び海外での県産農産物の需要拡大を図り、本県農業・農村の収益力を強化する。</li> <li>県産農産物の輸出に取り組む産地や事業者等の実情に合わせた支援を行うとともに、独自技術による新たな価値を持つ農産物加工品を開発し、新たに輸出に取り組む事業者を増やすことで、海外販路開拓・拡大を図り、本県農産物の国際競争力を高める。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>○とちぎの農村等の魅力海外発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>とちぎの農村の魅力発信による誘客促進（委託料等）9,380千円</li> <li>現地インフルエンサーを活用した情報発信（委託料等）1,996千円</li> </ul> <p>○いちご等の本県特産品を活用したプロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本県の強みである「いちご」等の農産物の情報発信（委託料等）20,382千円</li> </ul> <p>○インバウンド需要に対応した農村地域の稼ぐ力強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農村プロデューサーによる新たなビジネスの創出支援（委託料）7,900千円</li> </ul> <p>○農産物輸出体制強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザーの設置等による輸出拡大への総合的強化（委託料等）12,520千円</li> </ul> <p>○農産物産地づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな産地づくりに必要な大型機械の導入等の支援（補助金）61,534千円</li> </ul> <p>○新たな需要に応じた農産物加工商品開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農産物加工品の製造支援（補助金）30,092千円</li> </ul>		<p>【展開イメージ】</p> <p>訪日観光の促進と県産農産物の需要拡大の「好循環」による農業・農村の収益力向上を実現</p>
KPI	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域における農林水産出荷額（+118.5万円）</li> <li>②農村地域に宿泊する訪日外国人観光消費額（+7.7千万円）</li> <li>③とちぎの農村ならではのグローバルビジネス創出数（+5件）</li> <li>④輸出に取り組む生産者数（+14者）</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html">https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html</a></p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【栃木の山の恵みを生かした高付加価値インバウンド誘客事業】

申請者	栃木県、日光市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	495,518千円 (160,109千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・世界に通用する栃木の山とそこで育まれる優れた資源を活用し、外国人に訴求する受入環境の整備・強化を行うことにより、来県外国人旅行消費単価の増加に取り組むとともに、栃木県と日光市が密に連携し、的確なプロモーションを展開することにより、来県外国人旅行者数の増加を図る。</p> <p>・これにより、来県外国人による旅行消費額の拡大を図り、持続可能な観光産業の実現を目指す。</p>						
<b>事業概要・主な経費</b> <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>①山の恵みを生かした付加価値の高いコンテンツ造成等による外国人旅行者受入環境の整備・強化に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家によるコンテンツ高付加価値化支援（委託料） 20,882千円</li> <li>・日光国立公園認定ガイドの育成・活用（委託料） 6,261千円</li> <li>・体験型テーマツーリズム推進（委託料、補助金） 32,127千円</li> </ul> <p>②付加価値の高いコンテンツの海外向けプロモーションに関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルツールを活用したプロモーション（委託料） 36,448千円</li> <li>・観光レップを活用した現地プロモーション（委託料） 21,691千円</li> <li>・国内での訪日外国人向けプロモーション（委託料） 20,000千円</li> </ul> <p>③上記①②を段階的に見直していくための調査・分析に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人旅行者滞在状況等の把握・分析（委託料） 7,000千円</li> <li>・外国人旅行者観光客満足度調査（委託料） 4,000千円</li> </ul>						
地域の多様な主体の参画	<p>外国人旅行者の受入に意欲のある観光・宿泊事業者と共同で栃木ならではの付加価値の高いコンテンツ造成等に取り組む。</p> <p>海外販路形成に向けた効果的なプロモーションを実施するため、日光国立公園満喫プロジェクト地域協議会の構成団体（自治体、地元大学、金融機関、新聞社等）との連携を図る。</p>					<b>KPI</b> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①日光国立公園の外国人観光客の消費額 (+193.67億円)</li> <li>②県事業での特別な体験コンテンツ造成数 (+81件)</li> <li>③市事業での特別な体験コンテンツ造成数 (+18件)</li> <li>④県公式観光サイトの特集ページPV数 (+22万PV)</li> </ul>

# 事業概要【とちぎの経済の好循環に向けた持続的な賃上げ等実現事業】

申請者	栃木県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	709,878千円 (220,942千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的(効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業が投資や賃上げを進める上で必要な原資確保を促進するため、適正な価格転嫁や労働生産性向上に係る支援を行う。また、企業の稼ぐ力を向上させ、持続的な賃上げへとつなげていくため、新たな付加価値やイノベーションを創出する仕組みを構築するとともに、海外から稼ぐ力の向上に向けた支援などを行う。さらに、企業の成長分野への投資等を促進するため、その担い手となる人材を持続的に確保・育成できる地域の体制を整備する。</li> <li>これらの取組により、持続的に賃上げが行える企業への構造転換と本県経済の好循環を実現する。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費	<p>①本県企業における取引の適正化・生産性向上の加速化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業の生産性向上支援(委託費) 19,044千円</li> <li>経営者意識啓発(講師謝金等) 560千円</li> </ul> <p>②本県企業の稼ぐ力向上に向けた『成長分野への投資』等の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションエコシステムプロジェクト支援(補助金等) 67,972千円</li> <li>国際ビジネス展開支援(委託費等) 16,350千円</li> </ul> <p>③本県企業の成長分野の担い手となる人材の確保・育成に向けた『人への投資』の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成長産業等人材育成・確保支援(講師謝金) 1,500千円</li> <li>とちぎ外国人材支援体制強化(委託費等) 28,128千円</li> </ul>				<p>The diagram illustrates the project's goals and mechanisms. At the top, a pink box states 'Sustainable Wage Increase and Economic Good Circulation'. Below it, two arrows point outwards: a blue arrow for 'Improvement of Earning Power' and a green arrow for 'Support for Talent Development and Security'. In the center, a yellow box indicates 'Normalization of Transactions and Production Improvement'. Below this, three boxes describe the underlying mechanisms: 1) 'Mid-sized and transaction companies co-exist and prosper together', leading to 'Growth industries accumulate, regional economy/employment becomes active', and 'Domestic and overseas earning power'. 2) 'Costs are appropriately passed on to the upper part of the cost curve', leading to 'Production improvement leading to cost reduction and investment', and 'Wage increase and investment'. 3) 'Security of talent for company growth', leading to 'Talent can be secured and nurtured', and 'Company attractiveness increases, talent can be secured sustainably'.</p>	
※経費内訳はR7年度事業費						
地域の多様な 主体の参画	<p>経済団体等と連携し、県内企業の価格転嫁や、生産性向上、収益性の高い事業展開を促進するなど、本県の経済の好循環につながる県内企業の持続的な賃上げ実現に向けた取組を支援していく。</p> <p>また、県内大学等と連携し、県内企業の成長分野の担い手となる高度人材の育成等に取り組む。</p>				KPI	<p>①製造業の付加価値額(+116,693百万円)</p> <p>②地域における新規雇用者数(+7,200人)</p> <p>③成長分野に係る新たな技術開発等の支援件数(78件)</p>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【とちぎ次世代スマート農業推進事業】

申請者	栃木県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	552,614千円 (149,914千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>官民一体となったスマート農業推進体制や本県産農産物の国内外への広い流通体制の整備などにより、農業産出額の増加を図る。</li> <li>スマート農業技術のフル活用による超「高品質・高収量・高効率」な農業生産体制の確立を推進することで、本県農業の成長産業化を実現する。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○とちぎ次世代スマート農業推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とちぎ次世代スマート農業推進センター」の設置に向けた推進会議の実施等（委託料等） 9,742千円</li> </ul> </li> <li>○スマート農業適応品種等開発事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業に適応した品種や栽培技術の開発（消耗品費等） 33,356千円</li> </ul> </li> <li>○スマート農業団地・大規模産地モデル創出事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業団地の形成に向けた合意形成や実施計画策定に係るコーディネート員の設置等（委託料等） 43,756千円</li> <li>・モデルとなるほ場の設置等の支援（補助金） 40,394千円</li> </ul> </li> <li>○スマート農業通信環境整備推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業機械による作業精度を高めるRTK基地局設置に向けた最適な通信環境整備のあり方検討等（委託料） 4,950千円</li> </ul> </li> </ul>				<p><b>とちぎ次世代スマート農業の確立</b></p> <p>次の姿（次世代スマート農業）</p> <p>③実証</p> <p>展開</p> <p>展開</p> <p>生産方式の抜本的な転換</p> <p>②研究開発</p> <p>④現場実装・普及（スマート園芸団地等の創出）</p> <p>①「とちぎ次世代スマート農業」推進体制の整備</p> <p>例）果梗枝が長く、自動収穫ロボットによる果実の認識が容易となる形質等</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>スマート農業技術に知見のある研究機関や大学等と連携し、新品種・新技術開発に向けた共同研究に取り組む。</p> <p>新たな拠点設置（とちぎ次世代スマート農業推進センター（仮称））に向け、関係機関・団体と連携し、最新のスマート農業機器の共有や新技術の推進に向けて一体的に取り組んでいく。</p>				KPI	<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における農林水産出荷額（+94万円）</li> <li>②先端技術導入経営体数（+589経営体）</li> <li>③加温設備のある園芸用施設のうち高度環境制御装置のある面積割合（+10%）</li> <li>④新規就農者のうち新規参入者数（+132人）</li> </ul>

※経費内訳はR7年度事業費

# 事業概要【とちぎの食を核としたブランディングによる誘客促進事業】


申請者	栃木県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	688,043千円 (210,681千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的(効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県の食の強みを生かしたブランディングを観光・農業・産業・暮らしの分野横断の取組により実施し、磨き上げた本県の食の魅力を幅広く発信することにより、とちぎ食誘客を促進し、日本人国内観光消費額の増加を図る。</li> <li>とちぎの食のブランド基盤を支える人材の確保・誘致等の取組の推進により、食を起点に人材の交流や集積を図り、本県の観光・農業・食品等関連産業の活性化が図られることを目指す。</li> </ul>					
事業概要・主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○とちぎの食の磨き上げによるブランド化推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・とちぎの食情報発信webサイト構築、関係者の連携体制構築、県産食材キャッチフレーズ・ロゴマークの設定等（委託料等） 33,146千円</li> </ul> </li> <li>○県民等多様な主体の参画による食誘客プロモーションの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食をテーマとした県民等参加型及びグルメ・旅行系等インフルエンサー活用によるプロモーション（委託料）52,055千円</li> </ul> </li> <li>○とちぎの食のブランド基盤を支える取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成プログラム等の情報発信、インターン制度実施、新規就農者の中古施設導入に係る支援等（委託料等）56,906千円</li> <li>・東京圏に暮らす人材に向けたデジタル広告配信、セミナー、モニターツアー、イベントの開催等（委託料等）68,574千円</li> </ul> </li> </ul>					
地域の多様な主体の参画	<p>県内の飲食・宿泊事業者と連携し、統一ロゴを活用した県産品PRを行うことで、ブランディングを促進し誘客につなげる。</p> <p>県内民間旅行会社やインフルエンサーと協力し、ノウハウを活用したプロモーションを実施してもらい、観光意欲を喚起する。</p> <p>地域の農業事業者による就農希望者への支援を行うことで、食を起点とした人材と、誘客に資する事業の地域定着につなげる。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額（+176億円）</li> <li>②本県インターネット調査で「栃木県産農産物を選んで買う」と回答した消費者の割合（+5%）</li> <li>③栃木県及び県内市町の移住相談窓口等において受け付けた相談件数（+2,400件）</li> <li>④本県インターネット調査で「栃木県を訪問したことがある（過去3年以内）」と回答した人の割合（+6%）</li> </ul>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値


# 事業概要【オープンイノベーションの促進による地域経済循環創出プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	栃木県宇都宮市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	113,142千円 (41,237千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域一体となって本市産業の原動力となる成長性の高いスタートアップの発掘・定着を図る</li> <li>・地域外から有望なスタートアップ企業の誘致に取り組み、スタートアップ企業の集積を図る</li> <li>・地域内外の企業間ネットワークを構築しながら中核企業等の事業連携や協業の活発化を図る</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ・新規事業創出などの課題を抱える市内中核企業等を選定し、スタートアップとの協業による共創プロジェクトの事業化に向けた伴走型の支援を行う。 ・市内外の有望なスタートアップ企業を発掘・選抜し、成長期のスタートアップが直面する課題解決、事業の拡大に向けた伴走型の支援を行う。 ・地域内外の企業間ネットワークの形成につながる支援を行う。 【主な経費】 ○オープンイノベーション等推進事業 ・オープンイノベーションプログラム（委託費）15,000千円 ・スタートアップに対する成長加速化事業（委託費）12,000千円 ・宇宙ビジネス集積促進事業（委託費）2,500千円 ○地域内外の企業間ネットワーク創出事業 ・市内における交流イベントの開催（委託費）2,500千円 ・ビジネスマッチング等コーディネート業務（委託費）8,427千円			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①オープンイノベーション等推進事業の参加企業における雇用増加数（+30人） ②新規事業プロジェクトの組成（+6件） ③スタートアップ成長加速化採択（+24件） ④企業間交流イベントの参加（+750人）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） <a href="https://www.city.utsunomiya.lg.jp/sangyo/sangyo/1035005/1029495.html">https://www.city.utsunomiya.lg.jp/sangyo/sangyo/1035005/1029495.html</a> <a href="https://www.city.utsunomiya.lg.jp/sangyo/sangyo/1026732.html">https://www.city.utsunomiya.lg.jp/sangyo/sangyo/1026732.html</a> （効果検証） 調整中	

# 事業概要【官民協働による「共創のまちづくり」推進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	栃木県宇都宮市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	160,000千円 (58,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外の多様な人材とのマッチングや共創の種を生む拠点となる「交流の場」を創出</li> <li>・自治体間競争に勝ち抜き、共創・協業のパートナーとして選ばれるまちを目指す。</li> <li>・共創・協業による地域課題の解決につながるプロジェクトを生み出す。</li> <li>・人口減少社会においても持続的なまちの成長や発展を目指す。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市拠点における市内外の多様な人材とのマッチングや共創の種を生む拠点となる「交流の場」を創出し、共創・協業による地域課題の解決につながるプロジェクトを生み出すとともに、関係人口（企業）の創出による地域活性化を図る。</li> <li>・また、上記の「交流の場」において、共創・協業による地域課題解決のモデル事業として「うつのみや未来創造プロジェクト」から生まれた共創プロジェクトの具現化・自走化や、若者・民間視点でのアイデアを市政へ反映するほか、官民に相乗効果が期待できる取組の具現化に向けた支援を行う。</li> </ul> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「共創のまちづくり」推進拠点の運営</li> <li>・都市拠点における「交流の場」(コミュニティスペース)の設置・運営（委託費）39,000千円</li> <li>○「うつのみや未来創造プロジェクト」の推進</li> <li>・「うつのみや未来創造プロジェクト」の運営支援（委託費）4,000千円</li> <li>○「共創のまちづくりプロジェクト」の推進</li> <li>・「（仮称）公民連携プラットフォーム」の設立・運営（委託費）5,000千円</li> <li>・「共創のまちづくりプロジェクト」の推進（交付金）10,000千円</li> </ul>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における新規雇用者数（+40人）</li> <li>②具現化・社会実装された共創プロジェクト数（+4件）</li> <li>③「（仮称）公民連携プラットフォーム」で受け付けた民間企業等からの提案数（+10件）</li> <li>④「ミヤ・共創ラボ」で採択した実証実験等の件数（+10件）</li> </ul>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p><a href="https://www.city.utsunomiya.lg.jp/shisei/machi/1034531/index.html">https://www.city.utsunomiya.lg.jp/shisei/machi/1034531/index.html</a></p> <p><a href="https://www.city.utsunomiya.lg.jp/shisei/machizukuri/1028800/1033399.html">https://www.city.utsunomiya.lg.jp/shisei/machizukuri/1028800/1033399.html</a></p> <p>(効果検証) 調整中</p>
※経費内訳はR7年度事業費	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値		

# 事業概要【世界で輝く「スポーツのまち うつのみや」の実現】

旧制度（推進）

申請者	栃木県宇都宮市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	168,260千円 (43,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケートボードパーク等を有する「東部総合公園」を整備することにより、若者等のプレーヤー達の受け皿を創出や、国際・国内大会を誘致する。</li> <li>・アーバンスポーツの認知度向上を目指すとともに、国際大会の開催など県内外から多くの来場者を呼び込む誘客策を実施し、「スポーツのまち うつのみや」を目指す。</li> <li>・「東部総合公園」を広く知ってもらい、市民に日常的に親しまれ、県内外の利用者には気軽に訪れていただけるよう、開園に向けた機運醸成を図る。</li> </ul>			
<b>事業概要・主な経費</b> <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スケートボード」と「BMX」に係る新たな施設整備による「スポーツのまち うつのみや」への期待感や機運醸成を図るとともに、施設来場者を継続的に呼び込む体制や仕組みを構築する。</li> <li>・本市の国際スポーツ都市としてのブランド力の強化を図るとともに、市内外に向けて新たなスポーツ競技への機運醸成を図る。</li> <li>・スポーツを活用した地域経済の活性化に向け、継続的に開催していく国際・国内大会の誘致に計画的に取り組む。</li> <li>・「東部総合公園」の開業後においては、運営主体と連携してスケートボードパークを活用し、愛好者はもとより競技者人口の増加につながる人材育成を実施する。</li> </ul> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツパーク（東部総合公園）でのアーバンスポーツ利用促進事業</li> <li>・東部総合公園開園準備（委託費） 10,000千円</li> <li>・東部総合公園オープンイベント開催費オープンイベント開催費（委託費）10,000千円</li> <li>○スケートボードやBMX等の普及・定着促進</li> <li>・アーバンスポーツフェスティバルの開催（委託費）23,000千円</li> </ul>			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額（7.5億円）</li> <li>②延べ来場者数（4.2万人）</li> <li>③イベントにまた来たいと思う人の割合（255%）</li> </ol>		<b>関連URL</b> （交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年12月公表予定 （効果検証） 調整中	

# 事業概要【宇都宮版SOIPによる「スポーツオープンイノベーションのまち宇都宮」ブランディング推進事業】

申請者	栃木県宇都宮市				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	58,000千円 (20,000千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントを通じて、スポーツを核とした他産業との掛け合わせによる事業創発（スポーツオープンイノベーション）を推進する地域としてのブランディングを進める。それにより、スポーツを単に「競技スポーツ」ととらえるのではなく、スポーツを核とした他産業との掛け合わせによる事業創発や、地場大学と連携した共同研究、学生と企業のマッチングの機会を増加させ、企業集積を促し、「スポーツを核とした地域経済の活性化」の実現を目指す。</li> <li>イベントを通じて、スポーツオープンイノベーションの推進組織として本市が設立予定の宇都宮版SOIP（スポーツオープンイノベーションプラットフォーム）の会員募集得を行う</li> </ul>						
<b>事業概要・主な経費</b>  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p><b>【事業概要】</b>                  スポーツを核とした他産業との掛け合わせによる事業創発（スポーツオープンイノベーション）推進のためのイベントを実施し、その中で、地場大学の学生と地元企業との共同研究等の成果を発表する。また、成果発表に至るまでの経過（学生と企業のマッチングや企画立案、企画推進）も伴走的に支援する。</p> <p><b>【ソフト事業経費】</b>                  ○「スポーツオープンイノベーションのまち宇都宮」推進のためのイベント開催                  ・イベント企画・開催業務（委託料）17,000千円</p> <p>○コーディネート人材の育成                  ・コーディネーター活動方針の策定（委託料）1,000千円                  ・コーディネート人材の育成カリキュラム（座学カリキュラム＝Off-JT）の開発・実施（委託料）1,000千円                  ・コーディネート人材へのOn-JT実施（委託料）1,000千円</p>				<p>会場イメージ</p>  <p>講演ブース</p> <p>展示ブース</p> <p>展示ブース</p> <p>打ち合わせスペース</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 有識者や著名人を招待して講演会やトークセッションを実施するスペース</li> <li>✓ 1回のイベントで3～5回程度開催予定</li> <li>✓ スポーツをテーマとした体験型ソリューションの展示</li> <li>✓ 宇都宮版SOIPにて進める実証結果の展示</li> </ul>   <p>出展内容の企画や出展コンテンツの策定支援としてコーディネート人材が伴走</p>	
<b>地域の多様な主体の参画</b>	<p>プロスポーツチーム等に、これまでの地域に根ざした活動に基づく高い訴求力を活かしたイベント周知、事業周知を行ってもらう。</p> <p>学生等に、イベント・実証事業の企画・検討を行う会議体に参画してもらい、学生の関与や人材の育成、最新の研究等の見地から助言を行ってもらう。</p>				<p><b>KPI</b></p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① イベントを契機として進出した企業による新規雇用者の増加数（+6人）</li> <li>② イベントを契機とした企業進出件数（+3社）</li> <li>③ イベントに参加した企業の数（+40社）</li> <li>④ イベントに参加した学生数（+90人）</li> </ul>	

# 事業概要【地域共生社会実現に向けた地域コミュニティ活性化事業】

申請者	栃木県宇都宮市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	95,161千円 (33,361千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティの要である自治会の活性化や女性をはじめ誰もが活躍できる社会の実現、買物などの基本的な日常生活に不可欠なサービスの維持、移住定住施策の更なる強化などにより、地域コミュニティの充実を図り、生活環境の創生に取り組む。</li> <li>日常生活に不可欠な「買物」をきっかけとして外出を促し、「買物」を通して地域住民と「交流」する機会を創出することで、高齢者の生活の質の向上、社会参加の促進を図る。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会への加入促進・活動の活性化を図り、魅力あるコミュニティの形成に寄与する。</li> <li>働くことを希望する女性が生き生きと地域社会で活躍できる環境づくりに取り組む。</li> <li>移動販売と交流の場の整備を行うことで、高齢者の生活の質の向上や社会参加の促進を図る。</li> <li>東京圏の街頭広告等への配信の展開のほか、女性・若者が住みやすい、安心・安全なまちを創出し、移住定住に踏み切りやすい環境づくりに取り組む。</li> </ul> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会への加入促進・活動の活性化</li> <li>自治会デジタル活用支援等（補助金） 7,881千円</li> <li>女性活躍の促進</li> <li>仕事と健康課題の両立支援事業等（委託費） 5,250千円</li> <li>移動販売と合わせた交流の場の整備事業</li> <li>移動販売（補助金）4,830千円</li> <li>東京圏の移住定住の促進</li> <li>東京圏へのプロモーションの実施等（交付金） 15,400千円</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>学生等から意見を聴取し、本市が提供するサービス内容に反映する。 東京圏への人口流出を抑制するため、ウェブメディアに、若者・女性に訴求する効果的なプロモーションについて意見を聴取し、事業内容への反映に取り組む。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①移住定住に関する相談のうち実際に本市へ移住した人の数 (+180人)</li> <li>②日常生活の中で、「絆」や「つながり」を感じる市民の割合 (+11.40)</li> <li>③地域における交流の場への参加者延べ人数（年間） (+7,208人)</li> <li>④宇都宮市男女共同参画推進事業者表彰「きりり大賞」表彰事業者数 (+36事業所)</li> </ol>

※経費内訳はR7年度事業費

# 事業概要【人や企業から選ばれるリーディングシティ宇都宮創出プロジェクト】

申請者	栃木県宇都宮市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	110,850千円 (46,950千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 観光分野

**目的・効果**

- 本プロジェクトに位置付けた各事業を通じて、民間の主体的な参画を促進し、総力を挙げて、地域の「稼ぐ力」を引き出し、育むことで、地域経済の底上げを図るとともに、産官学をはじめとする多様な主体が一体となり、地域の力を結集し、本市ならではの価値を創出・提供し続ける持続可能な都市を目指し、地域経済の活性化に取り組む。

**事業概要・主な経費**

※経費内訳はR7年度事業費

**【事業概要】**

- 本市が有する魅力ある観光資源をはじめとした様々な資源を掘り起こし、官民一体となって、更なる観光資源の磨き上げを行う。
- 官民一体となったMICE開催と受け入れ体制の強化を行い、滞留時間の増加による消費額の向上や外国人が楽しめるまちづくりを行っていく。
- ライトライン停留場周辺について、開催費に一部を補助することで、恒常的な賑わいを生むことを目指す。
- スポーツ施設の最適な配置箇所を選定することで、まちの魅力創造や交流機会の創出を進めていく。

**【ソフト事業経費】**

- オール宇都宮による観光振興（交付金） 9,000千円
- ・官民一体の組織である観光推進委員会を通じた事業の構築
- 戦略的な観光誘致（補助金） 7,000千円
- ・市民発信型のデジタルプロモーションを行う。
- MICE開催支援の充実と受入体制の強化（補助金） 3,950千円
- ・MICE開催都市としての地位を更に高める取組を充実
- ライトライン停留場周辺の賑わい創出（補助金） 2,000千円
- ・市街化調整区域等のLRT停留場周辺の賑わいづくりを行う。
- スポーツ施設整備計画策定業務（委託料） 25,000千円
- ・本市のスポーツ施設の統合、集約、総量抑制など様々な方策を検討した上で、機能・規模・配置等の考え方をとりまとめる。



**地域の多様な主体の参画**

学生等から意見聴取した上で、本市が提供するサービス内容に反映する。  
金融機関等から、本市観光に関する意見聴取を行い、稼ぐスキームへの助言をもらう。  
地元メディア等に、イベント企画、連携企画を検討する際の意見を聴取するなどしてマスコミのノウハウを活用し、サービス企画や周知方法に反映する。

**KPI**

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

- ①本市への観光入込客数 (+172万人)
- ②市民自らが観光資源を発信した回数 (+240回)
- ③観光消費額 (+214億円)
- ④MICE開催件数 (+12件)
- ⑤MICE消費額 (+10.5億円)

# 事業概要【八幡山公園魅力向上事業】

申請者	栃木県宇都宮市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	776,200千円 (18,200千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>• まちなかの緑豊かな小高い山の上にあるという希少価値の高い立地条件にもかかわらず、花見シーズン以外は閑散としていることから、八幡山公園を市民が誇れる公園とするとともに、この公園があるから、宇都宮に住んでみたいという公園を実現していく。そのため、民間活力を最大限活用しながら、公園に新たな魅力を持たせ、質を向上させることができるPark-PFIの手法を公園整備の一部に取り入れ、幅広い世代や多様なニーズに対応していくとともに、Park-PFIの対象となっていないエリアにあるアドベンチャーブリッジ、宇都宮タワー、駐車場をリニューアルし、それ自体が観光名所となり得る施設へと変えていくことで、公園すべてを再整備し、公園に一体性を持たせるとともに、園内の周遊性を向上させることで、公園周辺へのレジャー関連事業者の進出など、新たなビジネスチャンスの創出などの経済的効果を期待する。</p>						
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p><b>【事業概要】</b> Park-PFIを活用した八幡山公園の再開発を行い、魅力向上を図るとともに、Park-PFIの対象となっていないエリアにあるアドベンチャーブリッジ、宇都宮タワー、駐車場のリニューアル工事を行い、本市中心部への新たな観光資源として整備することで、他の観光資源とも連携した新たな観光周遊策の創出やワーケーションの場としての活用などを進めていく。</p> <p><b>【ソフト事業経費】</b> ○八幡山公園とその周辺の活性化に向けたエリアマネジメント（委託費）5,000千円</p> <p><b>【拠点整備事業経費】</b> ○八幡山公園アドベンチャーブリッジリニューアル 5,000千円 ・リニューアル検討業務、実施設計、リニューアル工事 ○園路広場の整備・改修 8,200千円 ・長寿命化検討業務、実施設計 ○駐車場整備および案内サイン更新によるアクセス環境の向上 0千円 ・駐車場の増設、案内サインの更新</p>					<p><b>Hachimanyama Oasis Resort Park</b> ～私たちの手で自慢の公園に～</p> <p>対象エリアは4つのゾーンで構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然体験ゾーン (自然体験施設・パイオネスト)</li> <li>●花の谷ゾーン (アサヒの谷、ツツジの谷)</li> <li>●管理施設ゾーン (カフェレストラン、デッキ広場、ドッグラン)</li> <li>●交流ゾーン (水遊び場)</li> </ul> <p>その他: アサヒの谷、ツツジの谷、あしぎなトンネル、マツツジの谷、利用者の利便性の向上 (駐車場の増設、駐車場の増設)、歩行者や自転車利用者の安全を確保 (自転車専用道、周辺道路への配慮)</p> <p>既存の施設の活用を活かしたゾーンを形成</p>	
地域の多様な主体の参画	<p>学生が普段利用しやすい公園とするため、学生等から意見を聴取するほか、稼げる施設とするため、金融機関等から意見を聴取した上で、施設で提供するサービス内容に反映する。</p> <p>地元メディアに対して、イベント企画や連携企画を検討する際に意見を聴取するなど、マスコミのノウハウを活用したサービス企画や周知を行っていく。</p>					<p><b>KPI</b></p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①本市への観光入込客数 (+172万人) ②八幡山公園の来園者数 (+6万人) ③八幡山公園の満足度 (満足、どちらかと言えば満足)の合計 (+8%)</p>

# 事業概要【「人が集い スポーツに親しみ 交流する」北西部地域体育施設の整備による北西部地域の振興】

申請者	栃木県宇都宮市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	4,670,914千円 (408,697千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 観光分野

## 目的・効果

- 北西部地域にはこれまでも森林公園のようなサイクリストが楽しめる屋外のスポーツ施設を有していたが、屋内のスポーツ施設が不足していたところであり、今後、北西部地域体育施設が完成すると体育館競技も含めた幅広いスポーツやフィットネスを対象に、「道の駅ろまんちっく村」を代表とする広大な自然環境や食の提供、温泉施設と組み合わせることで、観光客の更なる誘客と経済循環の実現を目指す。
- 本市初となるBMXレースダートコースの整備は本市に多大な経済効果をもたらしている、「ジャパンカップサイクルロードレース」などのサイクルスポーツイベントと連携して更なる効果の発現を期待する。こうした取り組みにより本市の「稼ぐ力」をより強いものにしていく。

## 事業概要・主な経費

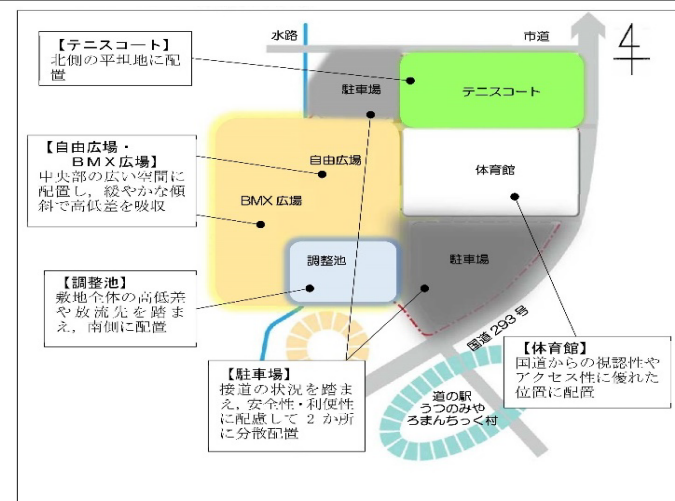
### 【事業概要】

- 大会利用も可能な大きさを備え、多種目の競技が行える、スポーツツーリズムの推進が可能で、展示会等の利用もできる体育館を整備する。
- BMXレースダート広場について、国内大会が開催できる規模となるよう、コース延長や幅員・直線の距離、コーナーの設置数などの要件について、詳細な規模・仕様を設定する。
- 市内に数が少ないテニスコートやフットサルコートを用いて整備することで更なるユーザーの獲得を図っていく。

### 【拠点整備事業経費】

- 北西部地域体育施設の整備
- ・建築物本体工事 315,121千円
- ・CM業務：29,920千円
- ・屋外工事：63,656千円

※経費内訳はR7年度事業費



※上記の施設配置はイメージ図であり、今後、設計業務等により、変更となる場合があります。

## 地域の多様な主体の参画

学生が普段利用しやすい施設とするため、学生等から意見を聴取するほか、稼げる施設とするため、金融機関等から意見を聴取した上で、施設で提供するサービス内容に反映する。  
地元メディアに対して、イベント企画、連携企画を検討する際の意見を聴取するなどしてマスコミのノウハウを活用し、サービス企画や周知方法に反映する。

## KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

- ①本市への観光入込客数 (+172万人)
- ②北西部地域体育施設の利用者数 (+30,000人)
- ③「スポーツ」をきっかけとした本市への来訪者の割合 (+2%)

# 事業概要【市体育館機能・利便性向上改修事業】

申請者	栃木県宇都宮市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	305,800千円 (305,800千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・市体育館は本市経済・地域の活性化や市民のウェルビーイングの向上に大きく寄与する施設であるが、供用から40年以上が経過する施設であり、特に「みる」スポーツの観点からは機能が不足している。また、2026年シーズンから創設されるトップカテゴリーの「Bリーグ・プレミア」（Bプレミア）への参入意向を宇都宮ブルックスが表明したことから、Bプレミア基準にも対応するため、スイート席の増設やアリーナラウンジの設置、来場者が待たずにトイレを利用できる環境の整備など、施設の安全性・快適性・利便性を高め、施設の「稼ぐ力」と持続可能性を高めるとともに、東部スポーツウェルネスラインの重要な構成要素の1つとしての体育館の拠点性を高めることで、ライトライン沿線の賑わいの向上にもつなげていくことが期待できる。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域らしさを提供する意匠を凝らして、非日常性を感じられる空間を提供するスイート席として100席を有する居室を増設する。</li> <li>・試合はもとより、食と歓談を楽しむことができるホスピタリティの実現により、市内外の様々な方々をつなぐ場として250人が一堂に会することができるラウンジを創出する。</li> <li>・ラウンジで食と歓談を楽しむホスピタリティを実現するため、必要な機能として常設飲食施設を整備する。</li> </ul> <p>【拠点整備事業経費】</p> <p>○宇都宮市体育館機能・利便性向上改修 305,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スイート・ラウンジの整備</li> <li>・飲食スペースの確保工事</li> <li>・不足するトイレを確保するための工事</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>学生が普段利用しやすい施設とするため、学生等から意見を聴取するほか、稼げる施設とするため、金融機関等から意見を聴取した上で、施設で提供するサービス内容に反映する。</p> <p>地元メディアに対して、イベント企画、連携企画を検討する際の意見を聴取するなどマスコミのノウハウを活用し、サービス企画や周知方法に反映する。</p>					KPI	<p>①本市への観光入込客数（+172万人）</p> <p>②宇都宮市体育館で開催された興行の来場者数（宇都宮ブルックスの来場者数を除く）（+3,500人）</p> <p>③宇都宮市体育館で開催された興行数（宇都宮ブルックスのホームゲームを除く）（+3件）</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

※経費内訳はR7年度事業費


# 事業概要【里山環境を活かした持続可能なまちづくり事業】

旧制度（推進）

申請者	栃木県足利市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	57,502千円（10,384千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな地区の担い手の確保・育成を図る</li> <li>・地域資源を活かした住民主体による観光・交流振興を行う</li> <li>・地区の活性化を図るとともにその魅力を発信することで、転入者の増加を図る</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市農村交流施設「名草ふるさと交流館」の活用</li> <li>・拠点運営（委託料） 5,527千円</li> <li>○体験型観光を取り入れた情報発信やプロモーション活動の推進</li> <li>・農業体験プログラム等交付金 1,857千円</li> <li>・インフルエンサーマーケティング事業業務委託 2,000千円</li> <li>○空き家のリノベーションとライフスタイルのPR</li> <li>・大学との共同研究（委託料） 1,000千円</li> </ul>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>①足利・名草ふるさと自然塾運営協議会の新規参画者数（+12人）</li> <li>②事業年間利用者数（+1,100人）</li> <li>③新名物年間販売額（+120万円）</li> <li>④名草地区への年間転入者数（+14人）</li> </ol>		関連URL  <a href="https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/government/000085/000472/p005168.html">https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/government/000085/000472/p005168.html</a>

# 事業概要【「足利氏のふるさと」ツーリズム観光誘客促進事業】

旧制度（推進）



申請者	栃木県足利市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	68,000千円（14,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を生かした着地型観光事業を通じて「足利ファン」の獲得を図る</li> <li>・新たな教育旅行先としてのブランド確立を図る</li> <li>・足利氏を意識した市民のまちづくりへの参画</li> </ul>		
<b>事業概要・ 主な経費</b>  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	周遊モデルコースへの招聘やモニターツアーの実施、プロモーション活動 ・ファムトリップ企画（委託料） 3,300千円 ○足利氏関連商品の販路拡大や連動した観光サインの設置 ・販路拡大、販売促進 600千円 ・標識柱作成費 1,200千円 ○歴代足利氏の甲冑の再現による着付け体験の提供 ・甲冑、付帯道具一式作成費 1,400千円 ○年間を通じた足利氏及び本市の魅力の発信 ・広報委託費 6,400千円 ○教育関連旅行の誘致 ・小中学校へのパンフレット配布 500千円 ・旅行ブース出展、出張説明 500千円 ○市民のボランティア意識の向上 ・歴史講座事業 100千円		
<b>KPI</b>  <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①観光客入込数（+262万人） ②校外学習・教育旅行者数（+825人） ③足利市観光ボランティアガイド協会会員数（+9人） ④足利氏関連新商品年間販売額（+80万円）	関連URL	<a href="https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/government/000085/000472/p005168.html">https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/government/000085/000472/p005168.html</a>

# 事業概要【日本一キラキラした高校生によるU I Jターンプロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	栃木県足利市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	50,349千円（9,019千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生をメインターゲットとし、市内への定住やUターンを促すと同時に、地域を担う人材を育成する</li> <li>・移住施策の継続・深化により転入者の増加を目指す</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高校生のキャリア教育</li> <li>・次世代育成・PRコーディネート（委託料） 4,082千円</li> <li>・活動拠点経費（賃借料） 1,980千円</li> <li>・活動拠点経費（通信費等） 574千円</li> <li>○体験プログラム等による移住者交流会の開催（委託料） 1,300千円</li> <li>○相談体制の強化等による移住促進</li> <li>・活動拠点経費（通信費等） 214千円</li> <li>・移住定住促進諸経費 869千円</li> </ul>		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①高校生クラブ員数（+18人）</li> <li>②高校生クラブによる実践件数（+9件）</li> <li>③移住者交流会参加者数（+21人）</li> <li>④相談事業を経た移住者数（+55人）</li> </ul>		関連URL <a href="https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/government/000085/000472/p005168.html">https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/government/000085/000472/p005168.html</a>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

# 事業概要【スポーツ医科学の知見を活用した健康増進によるワークライフバランス改善事業】

申請者	栃木県佐野市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	68,000千円 (44,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 働き方改革分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツへの知見が深い学識経験者や地元民間事業者、医師、地域スポーツや部活動関係者等で構成する官民連携による協議会を設置し、市民の健康増進や競技力向上に向けて、実証事業に取り組む。</li> <li>既存のスポーツ医科学センターとの連携を図るため、その連携に必要な機器を整備し、そうした機器を設置した（仮称）佐野市スポーツ医科学センターを整備する。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ医科学の知見を活用した健康増進・競技力向上に向けた実証事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ医科学の知見を活用した実証事業に取り組む。 業務委託料 10,000千円</li> </ul> </li> <li>○（仮称）佐野市スポーツ医科学センター整備事業 既存施設の改修費 1,000千円</li> <li>○スポーツ医科学センターとの連携事業 備品購入費 33,000千円</li> </ul>				  <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民が自身の身体の状態について、定量的なデータとして捉える</li> <li>○民間事業者のアプリ等を活用し、測定結果を定期的に記録</li> <li>○誰もが気軽に運動に取り組めるようサポート</li> </ul>	
地域の多様な 主体の参画	<p>佐野市医師会、佐野市薬剤師会、佐野市歯科医師会、栃木県栄養士会安足支部等と連携し、医学的な見地や運動医学の観点から助言等をいただく。 市内の学校と連携し、スポーツの指導に係る専門的な見地から、運動習慣の定着に向けた助言等をいただく。 その他、商工会議所や金融機関、市民団体等、多様な主体と連携を行う。</p>				KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①従業者数（経済センサス）（+313人）</li> <li>②健康づくりに取り組んでいる市民の割合（+3%）</li> <li>③（仮称）佐野市スポーツ医科学センターの利用者数（延べ）（+6,000人）</li> <li>④本事業によるメディカルチェックにおける検査項目改善者数（延べ）（+3,600人）</li> </ul>

# 事業概要【地域企業の地域経済好循環実現のための鹿沼版伴走支援事業】

旧制度（推進）

申請者	栃木県鹿沼市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	16,490千円 (7,280千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長意欲の高い市内企業に対して、伴走型支援を実施し、課題設定及び課題解決の自走化を図る。</li> <li>・市内企業が自己変革力を身に付け、競争力のある企業へと成長することで域内への経済波及効果を図る。</li> <li>・市内企業のデジタル化を促進し、省人化や省力化を図ることで、人材不足の課題解決に寄与する。</li> <li>・市内企業のネットワークを構築し、地域経済を牽引する企業グループを生み出す。</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○企業経営に知見のあるコーディネーターを伴う企業訪問（ヒアリング、課題設定・課題解決支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター費用等（報償費等）2,800千円</li> </ul> <p>○デジタル化の専門事業者による企業内のデジタル診断及びデジタル技術導入のための伴走型支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル診断及びデジタル技術導入支援（委託料）2,320千円</li> <li>・補助金自動診断システム導入費用（委託料）660千円</li> </ul> <p>○中核企業のネットワーク構築（企業グループによる成長ノウハウの横展開、産官学金連携による課題解決セミナーの開催、企業グループによる新事業展開）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク構築の企画運営、講師派遣（委託料）1,500千円</li> </ul>			
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>①支援企業数（+64社）</li> <li>②支援企業の平均付加価値増加率（+9.0%）</li> <li>③ネットワークへの参加企業数（+30社）</li> <li>④支援企業の新規雇用数（+36人）</li> </ol>		関連URL	<a href="https://www.city.kanuma.tochigi.jp/0367/info-0000001036-1.html">https://www.city.kanuma.tochigi.jp/0367/info-0000001036-1.html</a>

# 事業概要【日光市新しい働き方推進によるひと・しごと誘致戦略プロジェクト】

旧制度（推進）

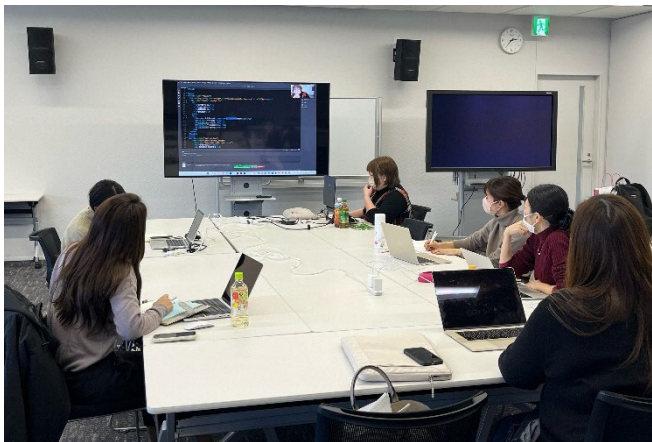
申請者	栃木県日光市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	101,238千円 (21,960千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の多様な地域資源を活かしたワーケーションを推進し、ひとの流れを生み出し、東京圏企業のコワーキングスペースの活用とサテライトオフィス誘致を行う。</li> <li>ワーケーションを契機に日光に訪れる東京圏の企業・人材等と、市内企業とのビジネスマッチングにより、販路開拓・拡大や、AI、IOT支援等による地域産業の高度化と生産性向上を図る。これらの取組により、多様な産業構造を生み出し若年層の流出抑制を図る。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>○ビジネスマッチング事業 来訪したワーカー又は企業と地域の事業者との新たなビジネス創出に向けた交流会・マッチングイベント等費用(委託料) 8,300千円</p> <p>○ワーケーション実施事業 企業・ワーカーの要望に合わせたオーダーメイド型プラン、地域課題解決型プラン造成等(委託料)1,000千円</p> <p>○プロモーション事業費 地域の観光事業者、ワークスペース運営事業者、交通事業者等が一体となった、誘客に向けた情報発信等(委託料) 3,300千円</p>		
KPI	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 転出超過の改善(+108人)</li> <li>② ワーケーション等により2回以上当市を訪問した企業数(+50件)</li> <li>③ 東京圏企業による市内企業へのIOT支援等件数(+35件)</li> <li>④ サテライトオフィス誘致件数(+21件)</li> </ol>		<p>（交付金の具体的使途・実施体制）  <a href="https://www.city.nikko.lg.jp/soshiki/1/1001/3/333.html">https://www.city.nikko.lg.jp/soshiki/1/1001/3/333.html</a></p> <p>（効果検証）  <a href="https://www.city.nikko.lg.jp/soshiki/1/1001/8/1/1800.html">https://www.city.nikko.lg.jp/soshiki/1/1001/8/1/1800.html</a></p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値



# 事業概要【日光市女性が輝く推進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	栃木県日光市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	51,565千円（18,430千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	<p>・子育て中の女性や若年層の就労が可能となるよう、デジタルワーカーを育成する事業を行い、女性が働きやすい・環境を整備する。様々な事業を行い、多様なライフスタイルが実現できることで、子育て中の女性や若年層が働きやすい・住みやすい日光市を構築し、少子化の改善を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○女性デジタルワーク産業育成事業 ウェブデザイン系、デジタル業務のスキル習得事業（委託料） 13,329千円</p> <p>○女性が活躍する職場環境づくり及び男女が家事と育児をシェアする「とも家事」「とも育児」事業 カジュアル家事MEN養成事業（委託料）等 3,196千円</p> <p>○若者への多様な働き方機運醸成事業 高校生へのデジタルワーク等の多様な働き方事業（委託料） 923千円</p> <p>○輝く女性日光推進事業(委託料) 521千円</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>① 女性デジタルワーク産業育成事業の受講者のうち、起業家数（+2人）</p> <p>② 男女共同参画推進事業者表彰数(+15件)</p> <p>③ 若者への多様な働き方機運醸成事業参加者数 (+34人)</p> <p>④ 輝く女性日光推進事業に参加する企業等の数 (+24件)</p>	関連URL	<p>(効果検証) <a href="https://www.city.nikko.lg.jp/soshiki/1/1001/8/1/1800.html">https://www.city.nikko.lg.jp/soshiki/1/1001/8/1/1800.html</a></p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) <a href="https://www.city.nikko.lg.jp/soshiki/1/1003/10/index.html">https://www.city.nikko.lg.jp/soshiki/1/1003/10/index.html</a></p>



# 事業概要【移住・定住・シビックプライド醸成に向けた若者による真岡ファン創出プロジェクト】

旧制度（推進）


申請者	栃木県真岡市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	25,028千円 (5,794千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>高校生が主体として活動する高校生クラブなどの若者目線での本市の魅力の発信を行っていく。若者の市内定住や将来的なUターン、関係人口を創出するために、高校生の地域活動の輪を広げていくとともに、市民にもまちの魅力を発信することで、郷土愛を醸成し、他者勧奨意欲を高めることで、若者の定住やUターンを促進を促進し、若者の市民活動が活発な本市の魅力を東京圏に発信することで、将来的な移住を視野に関係の深度化を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高校生による真岡市の魅力発信事業</li> <li>・高校生クラブ活動事業費（消耗品費）20千円</li> <li>○高校生クラブ活動による中高生の定住機運の増進</li> <li>・中学生、高校生向け定住促進事業費（委託料）494千円</li> <li>○情報発信に向けた広報DXの推進</li> <li>・HP分析ツール使用料 1,320千円</li> <li>・HP運用支援業務委託費 2,640千円</li> <li>・デジタル広告費（委託料）1,320千円</li> </ul>	<p>高校生クラブ（真岡すきすきシェアクラブ） ※写真はR6年度のメンバー</p>  <p>若者による魅力発信</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>市内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土愛の醸成</li> <li>・若者の定住や将来的なUターン意欲の醸成</li> <li>・地域づくり活動の輪を拡大</li> </ul> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>市外・東京圏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知度の向上</li> <li>・外からの目線で真岡の魅力を創出</li> <li>・将来的な移住者確保に向けた関係構築</li> </ul> </div> </div>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①真岡すきすきシェアクラブ インスタグラムフォロワー数（+1,534人）</li> <li>②まちづくり活動に参加している市民の割合（+1.4%）</li> <li>③デジタル広告閲覧数（+12,822回）</li> <li>④移住相談件数（+40件）</li> </ul>	関連URL	<a href="https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/sogoseisaku/gyomu/seisaku_kaikaku/4/1691.html">https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/sogoseisaku/gyomu/seisaku_kaikaku/4/1691.html</a>

# 事業概要【「いちご王国とちぎの首都もおか」交流促進・地域経済活性化プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	栃木県真岡市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	78,946千円 (6,946千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>着実な農業振興により培われた本市最大の特色である生産量「日本一のいちご」を観光や商業の振興にも活用することで、新たな人の流れを創出し、地域の活性化を図ります。そのために、「いちご」をテーマとした観光イベントの開催、高付加価値商品の開発の補助などを行うとともに、行政及び民間事業者の観光DX化を図ることで交流人口の増加に加え、地域経済の活性化につなげていきます。</p>		
事業概要・ 主な経費	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>○「いちご」を用いた地域の稼ぐ力の向上を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発費補助金 1,000千円</li> <li>○観光情報の発信力の強化と分析</li> <li>・観光動画デジタル広告及び分析（委託料） 1,320千円</li> <li>○行政及び民間事業者の観光DXを推進</li> <li>・Googleビジネスプロフィール推進事業費(委託料) 1,372千円</li> <li>・位置情報ビッグデータ分析システム使用料 990千円</li> <li>○インバウンド需要を獲得するための取組</li> <li>・国際交流バーチャルツアー（委託料） 1,372千円</li> <li>・観光ガイドブック（印刷製本費、筆耕翻訳料） 892千円</li> </ul> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>日本一のいちごを武器に観光・商業の振興</p>  <p>「いちご」をテーマとした観光イベント</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: 45%;"> <p>市内の機運醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高付加価値商品の開発</li> <li>・市内周遊を促進する「デジタルスタンプラリー」</li> <li>・東京圏での認知度向上イベントの開催</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: 45%;"> <p>観光DXで効果促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Googleビジネスプロフィール」の推進</li> <li>・位置情報データの活用</li> <li>・インバウンド獲得に向けたバーチャルツアーの実施</li> </ul> </div> </div>  <p>「いちご」をキーワードに観光を振興！ 地域経済の活性化 ・ 新たなひとの流れを創出</p> </div> </div>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域における観光消費額（+168.61百万円）</li> <li>② 観光入込客数（+29.71万人）</li> <li>③ 観光情報（市HP）閲覧回数（+250回）</li> <li>④ 外国人宿泊者数（+147人）</li> </ol>		
	関連URL	<a href="https://www.city.moka.lg.jp/kaku/ka/sogoseisaku/gyomu/seisaku_k/eikaku/4/1691.html">https://www.city.moka.lg.jp/kaku/ka/sogoseisaku/gyomu/seisaku_k/eikaku/4/1691.html</a>	

# 事業概要【女性・若者雇用創出プロジェクト】

申請者	栃木県矢板市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	27,000千円 (9,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>市内企業における就業者数の増加により新たなひとの流れを生み出し、人口増加と地域活性化を図るため、女性のスキルアップ研修や就労イベント等を実施し、女性就業者数の増加を図るとともに、高校生のための企業見学会や企業紹介等を掲載したデジタルブックを作成し、若者の就業者数の増加を図る。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○女性の就業サポート事業           <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアサポート研修実施費用 4,000千円</li> <li>・就労イベント開催費用 3,000千円</li> </ul> </li> <li>○若者の就業サポート事業           <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換会・企業見学会等開催費用 1,000千円</li> <li>・就業支援デジタルブック作成費用 1,000千円</li> </ul> </li> </ul> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>市商工会の構成団体である地元企業が参加する事業の実施に当たり、各事業の企画段階から、周知・広報、事業実施まで連携していく。 さらに、市内小中高校の各学校で実施している進路指導・キャリア教育等により得られた生徒の声や希望に関する情報を提供してもらうとともに、各種事業への協力や生徒への周知等を行う。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の転出入者数 (+33人)</li> <li>②市内高校卒業生の市内企業就職者数 (+6人)</li> <li>③女性のキャリアサポート事業の延べ参加者数 (+45人)</li> <li>④女性向け就労イベントの延べ参加者数 (+135人)</li> <li>⑤女性向け就労イベントの延べ参加企業数 (+45社)</li> <li>⑥就業支援デジタルブックの延べ閲覧数 (+1,500回)</li> </ul> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>

# 事業概要【那須塩原市ブランディング推進事業】


申請者	栃木県那須塩原市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	55,630千円 (16,830千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・那須塩原市に住み、ユニークな取組をしている方の取組を中心につなぎ合わせ、那須塩原市の新しい魅力を踏まえたブランドイメージを構築し、市民に浸透させることで、シビックプライドを醸成し、人口の流出を防ぐ。</li> <li>・市内の事業者、住民等と連携したブランディングアクションを通じ、地域を活性化するとともに、これらの取組を市外に発信することで、交流人口や関係人口の獲得と、新たな移住者の獲得を目指す。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プロジェクト運営組織の構築準備 3,830千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営組織構築準備委託料</li> </ul> </li> <li>○（仮称）なすしおばらLifeEXPOの実施 8,600千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場使用料、イベント運営委託料、登壇者謝礼・旅費</li> </ul> </li> <li>○ブランドコンセプトWebサイト構築 2,600千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Webサイト構築委託料</li> </ul> </li> <li>○ブランドPR物品製作（地元の高校生に編集作業等に参加してもらうことで、地域への愛着度を高めるための経費） 600千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生等の参加に係るファシリテート委託料</li> </ul> </li> <li>○デザインータルマネジメント 1,200千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインマネジメント委託料</li> </ul> </li> </ul> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>					<p>ブランドアクション</p> <p>認識を起点として、体現までの態度変容を促すアクションを計画します。</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>市は企業や金融機関と連携してイベント等の主催・PRをを実施する。大学は専門的知見の提供や学生によるPR、地域プロジェクトマネージャー等は運営組織の構築と計画策定、新聞社・ラジオ局は広報で協力し、地域住民はイベント等へ主体的に参加する。これらの多様な主体とは、定期的な意見交換会やアンケートを通じて意見を事業に反映し、連携して推進していく。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域へのUIターン数 (+200人)</li> <li>②人口社会増数 (+30人)</li> <li>③観光客入込数 (1,990,000人)</li> <li>④市民のブランドの認知度 (+90%)</li> <li>⑤（仮称）なすしおばらLifeEXPOへの参加者 (+1,800人)</li> </ul> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>

# 事業概要【那須塩原市地域共創事業】

申請者	栃木県那須塩原市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	64,000千円 (19,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な業種に対応した起業支援プログラムを実施することで、高い付加価値を生み出す事業所を増やし、生産人口の増加を目指す。</li> <li>市民にテレワークという働き方を知り、実践してもらうことで多様な働き方を広め、生産人口の増加を目指す。</li> <li>官民連携フォーラムによる官民連携や異業種間交流を促進し、地域に新しい仕事を生み出す。</li> <li>大学等と連携した実証事業を行うことで、地域課題の解決と、新しい仕事の創出を目指す。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○起業支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業支援プログラム 7,000千円 (委託料、使用料、講師謝礼、消耗品費)</li> <li>・アントレプレナーシップ教育 1,000千円 (委託料、使用料、講師謝礼、消耗品費)</li> </ul> </li> <li>○テレワーカー養成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク講座 3,000千円 (委託料、使用料、講師謝礼、消耗品費)</li> </ul> </li> <li>○新規事業創出事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携フォーラム構築 6,000千円 (委託料)</li> <li>・大学等と連携した地域課題解決実証事業 2,000千円 (委託料、専門家謝礼、消耗品費)</li> </ul> </li> </ul>					<p>種をまく 素地のある人材を育成する</p> <p>phase 1 ■アントレプレナーシップ教育</p> <p>芽が出る 活動が見つかる</p> <p>phase 2 ■自己啓発プログラム(対象外事業) ■テレワーカー養成講座</p> <p>育てる 活動をはじめる</p> <p>phase 3 ■起業支援プログラム</p> <p>咲かせる 活動がひろがる</p> <p>phase 4 ■官民連携フォーラム ■大学等との実証事業 ■ローカル10,000プロジェクト(対象外事業)</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>市は起業支援プログラムや実証事業等を主催し、関係市町と連携して地域経済活性化を図る。企業は講師派遣や協賛、大学は講座運営協力や先端技術提供、金融機関は講師派遣や融資で協力し、地域企業の従業員や住民は各種講座・事業に積極的に参加し、新聞社・ラジオ局はPRを担う。各主体とは定期的な意見交換会やアンケートを通じて意見を事業に反映し、改善をしていく。</p>					KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生産年齢人口 (+1,000人)</li> <li>②事業参加者が2年以内に設立した会社等の数 (20事業所)</li> <li>③企業版ふるさと納税額 (+6,000千円)</li> <li>④大学等と連携した新しい実証事業の実施数 (+3件)</li> <li>⑤テレワーク講座を受講してテレワークを始めた人数 (+30人)</li> <li>⑥中高生の起業に関心がある割合 (+20%)</li> </ul>

# 事業概要【「陶器市のまちから通年観光のまちへ」観光戦略づくり事業】

旧制度（推進）


申請者	栃木県益子町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	18,000千円（6,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>新型コロナウイルスの影響などに起因する観光客入込数の落ち込み等により、冷え込んだ町内経済を活性化させるべく、DMOましこラボが旗振り役となり、陶器市以外の平常時にも観光客を町に呼び込むため、アフターコロナの時代に適応した綿密な観光振興施策を打ち出し、観光資源の高付加価値化や観光客の回遊性向上等を図り、観光消費額の増加に繋げることで「地域の稼ぐ力」を引き出し、持続可能な観光地づくりに取り組む。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○アンケートの実施やデータ分析とマーケティング (委託料・消耗品費等：1,000千円)</p> <p>○回遊性向上に向けたコースの検討・電子マップづくり等 (委託料・消耗品費等：3,500千円)</p> <p>○ SNS媒体や公共交通機関を活用した広告・プロモーション (委託料・消耗品費・印刷製本費等：1,500千円)</p>		
KPI	<p>①地域における観光消費額（+673万円）</p> <p>②観光客満足度（+6.3%）</p> <p>③陶器市を除いた平常時の観光客数（+24万人）</p> <p>④外国人観光客宿泊数（+340人）</p>		

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値




# 事業概要【Mibu Love Active ～道の駅から始まるいちごとおもちゃのまちづくり～】

旧制度（推進）

申請者	栃木県壬生町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	26,312千円（946千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	道の駅みぶの活性化を図るため、令和7年度のリニューアルオープンに向けて、壬生町の地域資源でも代表的な「いちご」や「おもちゃ」をコンセプトとした商品の磨き上げや、商品を販売するための戦略構築、運営主体の業績向上を図る。		
事業概要・ 主な経費  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○施設利用者の滞在時間を表すデータを取得することで、効果的に「道の駅みぶ」の魅力につなげることができているのか把握する。</p> <p>人流データ取得・分析業務（委託） 946千円</p>		 <p>ヒト・モノ・コトを <b>「ALLみぶ」</b>で つないでいく</p>
KPI  <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①みぶハイウェーパーク施設利用者数（+930,902人）</p> <p>②みぶハイウェーパーク売上高（+460,824千円）</p> <p>③みぶハイウェーパークリピーター率（+3.45%）</p> <p>④いちごの生産面積（+13.0ha）</p>		<p>関連URL</p> <p>R7年度に外部委員会へ事業の進捗状況の報告及びKPIの効果検証結果について、町公式ウェブサイトにて公表を行う。</p>

# 事業概要【 Mibu Love Active ～ La chic mibuの描く道の駅 ～ 】

申請者	栃木県壬生町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	853,404千円 (853,404千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	「道の駅みぶ」に、「あなた“らしく”過ごせる」をキーワードとした、キッズスペースや多目的スペース、商業施設等を含む一大観光拠点「La chic marche (ラシックマルシェ)」を整備し、「道の駅みぶ」の目的地化、効果的な観光イベントなどの展開による地域内の観光消費額増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>道の駅において、みぶ“La chic”(らしく)おもてなしできるよう、みぶブランド認定品や道の駅みぶオリジナル商品などを買うことのできる物販施設や、「壬生お殿様料理」やご当地蕎麦などを食べることのできる飲食施設、子育て世帯を引き込む機能や町の観光案内機能、イベント機能等を整備する。施設利用者の獲得、拡大を図るため、施設の目的地化や観光情報の発信を強化することで地域全体の観光消費を促進する。</p> <p>・「La chic marche」整備費用：588,215千円 ・建物外構整備費等の効果促進事業：265,189千円</p>					 <p>The image shows a stylized map of the 'La chic marche' area, featuring a train station, a river, and various facilities. Below the map is the logo for 'La chic marche' with the tagline 'あなた “らしく” 過ごせる ～' and 'ラシック マルシェ'.</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>地元企業との協働や町商工会を中心として町商工業全体を俯瞰した運営のアドバイスを提案いただき、「ラシックみぶ」としての運営に反映し、町全体の活性化につながる道の駅のマネジメントを行います。また、大学と共同し、新商品の開発や道の駅の活性化を推進していきます。</p> <p>地方銀行等と金融や監査の観点から安定的な経営を目指すための助言をいただきます。報道機関と、関連事例の情報提供や効果的な情報発信を進めていきます。</p>					KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における観光客入込客数 (500,000人) ②今回整備施設 (“La chic marche” (ラシックマルシェ) ) 売上高 (427,454千円) ③地域における滞在人口 (休日14時) (2,175人) ④道の駅みぶ - みぶハイウェーパークWEBサイト表示回数 (21,283回) ⑤道の駅みぶ - みぶハイウェーパーク施設利用者数 (547,000人) ⑥地域ブランド品目認定数 (20品)</p>

申請者	栃木県那須町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	19,040千円（6,680千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域内活動参加」や「町内周遊」をとおして、二地域居住者等の地域との関係性を深める</li> <li>・就業やイベントの運営参加のきっかけをつくり、地域の担い手不足解消を図る</li> <li>・地域住民との交流や地域体験・就労体験等により、二地域居住者・関係人口の増加を図る</li> <li>・テレワークの理解促進やデジタルスキル講座により、テレワークでの二地域居住を促進する</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p><b>①「那須町ふるさとアプリ」の運用・開発改修</b>                      （委託費：4,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流・関係性深化のための「地域活動・イベント情報発信」</li> <li>・交流・関係性深化、滞在促進、町内周遊のための「ポイント制度」</li> <li>・滞在利便性向上のための「町民サービス提供」等</li> </ul> <p><b>②お試し二地域居住体験プログラム</b>                      （企画費・講師謝費礼等：480千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労体験（農業・酪農・テレワーク等）</li> <li>・町民との交流・町内周遊</li> <li>・ワークショップ</li> </ul> <p><b>③テレワーカー育成プログラム</b>                      （委託費：2,200千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二地域居住に興味がある非テレワーカーの人たちに向けて、テレワーク就業の理解促進セミナー・スキルアップ講座を実施</li> </ul>	 <p>①地域活動への参加</p>  <p>②就農・地域体験</p>  <p>③テレワーカー育成</p>	
KPI  <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域へのUIターン数（+130人）</li> <li>②地域活動や等発信回数（+90回）</li> <li>③体験プログラムの参加人数（+30人）</li> <li>④テレワーカー育成プログラム（+90人）</li> </ul>	関連URL	（効果検証） <a href="https://www.town.nasu.lg.jp/0043/info-0000001206-1.html">https://www.town.nasu.lg.jp/0043/info-0000001206-1.html</a>